

桑名市中学校部活動の 地域展開に向けた最終提言

～子どもたちの未来と持続可能な地域社会を創る

「くわなモデル」の構築～

令和8年3月

桑名市部活動在り方検討委員会

解説スライド





学校だけで抱える時代から、 地域全体で育む時代へ。

部活動は今、歴史的な転換点を迎えています。

なぜ今、改革が必要なのか

生徒数減少により、単独校でのチーム編成が困難に。活動機会の格差が拡大。

少子化

教員の負担

長時間労働と未経験種目の指導。教員の献身的な指導に依存した体制の限界。

従来の学校部活動

このままでは、子どもたちの「やりたい」を守れません。

目指すのは「活動場所の移行」ではなく「まちづくり」

従来

担い手

学校・教員のみ



未来

地域・行政・専門指導者の協働

目的

勝敗や成果の追求



「楽しい」「挑戦できた」の
の積み重ね

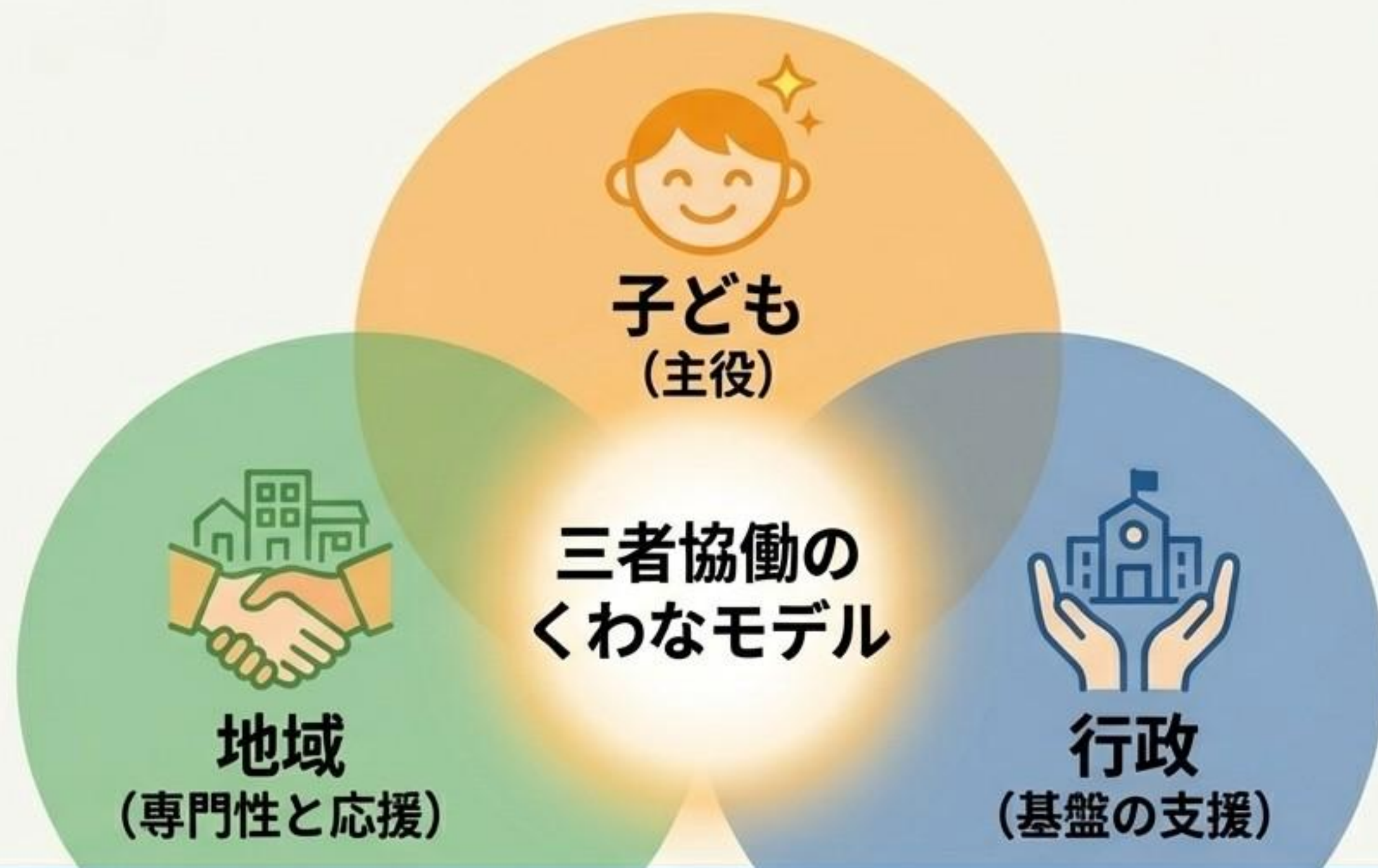
選択肢

学校にある部活のみ



多様なニーズに合わせた
「自分で選ぶ活動」

「くわなモデル」の全体構想



子どもが主役となり、地域と行政が一体となって支える新しい仕組みを構築します。

構想を形にする「3つの柱」

くわな地域クラブ (認定地域クラブ活動)

子どもが参加し、専門性を備えた指導者の
もと誰もが安心して楽しめる活動の場。

くわな運営協議会

事務局が会場調整や会計などの事務を一元的に
担い、活動を支える行政と地域の協働基盤。

くわな地域クラブ 応援コミュニティ

地元企業や地域住民が参画し、地域全体で
子どもたちを応援する好循環の輪。

皆様の不安に答える「安心のための5つの提言」



「トラブルがあったら
誰に言えばいい？」



提言1: 運営体制の構築（窓口）

相談窓口を事務局に一本化。指導者と事務を分離し、安心して任せられる体制へ。



「お金が高くないか心配...」



提言2: 持続可能な財源の 仕組み（費用）

適正な会費設定に加え、協賛金や市からの支援で負担を軽減。減免制度も整備。



「安全に、ちゃんと教えてもらえる？」



提言3：指導者を取りまく環境整備 (指導の質)

指導者の研修を義務化。意欲ある地域人材や、教員の兼業も後押しし、質と安全を確保。



「大会には今まで通り出られる？」



提言4：大会参加の仕組み整備 (大会)

地域クラブとして大会へ参加できるよう、関係機関へ規定見直しを働きかけ。



「情報が少なくてよくわからない」



提言5：情報共有と合意形成 (情報発信)

ポータルサイトでクラブ情報やQ&Aを集約。継続的な説明会で丁寧に対応。

改革の先にある、持続可能な地域社会



[子どもたち]

自分のペースで、本当にやりたいことに挑戦できる。
多様な選択肢と居場所の獲得。



[教職員]

心身の健康が守られ、本来の教育活動に専念できる。
持続可能な働き方の実現。



[地域・大人]

自身の経験や専門性を次世代に還元し、生きがいを得られる。
地域コミュニティの活性化。



部活動改革は、地域づくりであり、人づくりです。

子どもたちの成長と、地域の活力がともに高まる「くわなモデル」へ。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。